



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 柿本 敏男
 (氏名) 掛見 卓也

TEL 075-241-5124

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	170,250	2.5	10,091	△4.6	10,858	△1.0	6,546	9.4
27年3月期第3四半期	166,054	4.1	10,580	19.0	10,969	19.2	5,984	△43.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 4,679百万円 (△47.6%) 27年3月期第3四半期 8,932百万円 (△61.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	32.53	—
27年3月期第3四半期	29.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	263,167	158,716	50.6
27年3月期	264,438	158,404	49.9

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 133,134百万円 27年3月期 131,923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	10.00	10.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	4.8	11,300	1.8	12,000	1.5	6,400	12.2	31.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	217,699,743 株	27年3月期	217,699,743 株
28年3月期3Q	16,475,207 株	27年3月期	16,474,061 株
28年3月期3Q	201,225,138 株	27年3月期3Q	201,228,103 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

○第3四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出関連企業を中心とした企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかに回復を続けております。

一方、海外においては、米国は穏やかな景気拡大を続けておりますが、中国経済の減速やそれに伴う資源価格の下落などもあり、世界経済は依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、長期経営ビジョン「TaKaRaグループ・ビジョン2020」の達成に向けた第2ステップとしての「TaKaRaグループ中期経営計画2016」のもと、更なるグループ企業価値の向上を目指し、国内では収益力の向上、海外では事業の拡大・伸長に取り組むとともに、バイオ事業の成長加速により、環境変化に強いバランスのとれた事業構造に変革していくことを目指し、着実な事業活動に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高170,250百万円（前年同期比102.5%）、売上総利益67,901百万円（前年同期比104.3%）、営業利益10,091百万円（前年同期比95.4%）、経常利益10,858百万円（前年同期比99.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益6,546百万円（前年同期比109.4%）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

[宝酒造グループ]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、酒類では、焼酎は減少いたしました。清酒は“松竹梅白壁蔵「瀟」スパークリング清酒”が好調に推移し、海外ではTAKARA SAKE USA INC.（米国）が好調であったため増加いたしました。ソフトアルコール飲料では6月に“TaKaRa 果汁入り糖質ゼロチューハイ「ゼロ仕立て」”を新発売し、引き続き“TaKaRa 「焼酎ハイボール」”も好調に推移しましたので増加いたしました。

その他酒類では、ウイスキーやワインなどが増加しましたが、酒類全体では焼酎が大きく減少したことにより、減少いたしました。

調味料ではみりんや料理用清酒が増加し、原料用アルコール等や物流も増加いたしました。

また、海外日本食材卸では、FOODEX S. A. S. (仏国)やCOMINPORT DISTRIBUCIÓN S. L. (スペイン)などが引き続き好調に推移しましたので増加いたしました。

以上の結果、宝酒造グループ全体の売上高は、146,859百万円（前年同期比100.5%）となりました。売上原価は、91,986百万円（前年同期比100.0%）となりましたので、売上総利益は、54,872百万円（前年同期比101.2%）となりました。販売費及び一般管理費は、販売促進費の増加などにより46,787百万円（前年同期比102.2%）となりましたので、営業利益は、8,085百万円（前年同期比95.8%）となりました。

[タカラバイオグループ]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、主力の研究用試薬が前年同期を上回ったほか、円安の影響もあり、20,706百万円（前年同期比119.7%）となりました。売上原価は、売上高の増加に伴い9,199百万円（前年同期比117.3%）となりましたので、売上総利益は、11,507百万円（前年同期比121.7%）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費や人件費等の増加により10,062百万円（前年同期比122.9%）となりましたので、営業利益は、1,444百万円（前年同期比114.4%）となりました。

[宝ヘルスケア]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、フコイダン関連製品などが引き続き増加いたしましたので、1,376百万円（前年同期比111.9%）となりました。売上原価は、売上高の増加に伴い650百万円（前年同期比108.9%）となりましたので、売上総利益は、725百万円（前年同期比114.8%）となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝費の増加などにより685百万円（前年同期比113.7%）となりましたので、営業利益は、40百万円（前年同期比135.3%）となりました。

[その他]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、4,369百万円（前年同期比95.5%）、売上原価は、3,836百万円（前年同期比95.6%）となりましたので、売上総利益は、532百万円（前年同期比95.0%）となりました。販売費及び一般管理費は、499百万円（前年同期比100.7%）となりましたので、営業利益は32百万円（前年同期比51.1%）となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称		前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	前年同期比
	品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造グループ				
	焼酎	49,675	45,539	91.7
	清酒	19,817	19,848	100.2
	ソフトアルコール飲料	20,249	21,263	105.0
	その他酒類	10,128	10,458	103.3
	酒類計	99,870	97,110	97.2
	本みりん	11,368	11,933	105.0
	その他調味料	6,969	7,199	103.3
	調味料計	18,338	19,133	104.3
	原料用アルコール等	5,378	5,432	101.0
	物流	8,671	8,922	102.9
	海外日本食材卸	12,747	15,164	119.0
	その他	1,171	1,096	93.6
	計	146,178	146,859	100.5
タカラバイオグループ		17,293	20,706	119.7
宝ヘルスケア		1,230	1,376	111.9
その他		4,575	4,369	95.5
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去		△3,222	△3,061	—
合計		166,054	170,250	102.5

(注) 1. 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

2. 第1四半期連結会計期間よりセグメントの区分の変更を行っており、前第3四半期連結累計期間の販売実績は、変更後のセグメントの区分に基づき作成したものを表示しております。

なお、セグメントの区分の変更につきましては、「3. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,271百万円減少し、263,167百万円となりました。このうち、流動資産は前連結会計年度末に比べ5,123百万円増加し、165,776百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が10,023百万円増加し、有価証券が5,786百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ6,394百万円減少し、97,390百万円となりました。これは主に、投資有価証券が4,879百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,583百万円減少し、104,450百万円となりました。このうち流動負債は前連結会計年度末に比べ1,196百万円減少し、53,680百万円となりました。これは主に、1年内償還予定の社債が5,000百万円、未払消費税等の減少などにより流動負債その他が1,407百万円それぞれ減少し、未払酒税が5,076百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ386百万円減少し、50,770百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ312百万円増加し、158,716百万円となりました。これは主に、資本剰余金が1,316百万円、為替換算調整勘定が1,459百万円、非支配株主持分が899百万円それぞれ減少したものの、利益剰余金が4,507百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の連結業績は、主として国内酒類事業の進捗の遅れから売上高、営業利益、経常利益がやや計画を下回って推移していますが、親会社株主に帰属する当期純利益は計画を上回って推移しています。

このような状況の下、平成27年5月8日に公表した平成28年3月期の通期業績予想を据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ26百万円増加しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が1,316百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,296	39,611
受取手形及び売掛金	54,617	64,641
有価証券	27,022	21,235
商品及び製品	28,524	30,829
仕掛品	958	1,218
原材料及び貯蔵品	3,317	3,495
その他	5,148	5,008
貸倒引当金	△233	△264
流動資産合計	160,653	165,776
固定資産		
有形固定資産	53,085	52,723
無形固定資産		
のれん	8,071	7,225
その他	4,286	3,977
無形固定資産合計	12,358	11,202
投資その他の資産		
投資有価証券	32,900	28,020
その他	5,608	5,612
貸倒引当金	△166	△168
投資その他の資産合計	38,342	33,464
固定資産合計	103,785	97,390
資産合計	264,438	263,167
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,680	16,141
短期借入金	5,292	5,357
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払酒税	7,615	12,691
未払費用	5,456	5,280
未払法人税等	2,107	2,397
販売促進引当金	1,774	2,082
その他の引当金	2,255	1,440
その他	9,695	8,287
流動負債合計	54,877	53,680
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	10,334	10,295
退職給付に係る負債	8,407	8,546
長期預り金	5,622	5,346
その他	6,792	6,581
固定負債合計	51,156	50,770
負債合計	106,034	104,450

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	3,196	1,879
利益剰余金	108,647	113,154
自己株式	△9,937	△9,938
株主資本合計	115,132	118,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,098	9,042
繰延ヘッジ損益	558	137
為替換算調整勘定	7,431	5,971
退職給付に係る調整累計額	△297	△338
その他の包括利益累計額合計	16,791	14,813
非支配株主持分	26,481	25,581
純資産合計	158,404	158,716
負債純資産合計	264,438	263,167

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	166,054	170,250
売上原価	100,975	102,349
売上総利益	65,078	67,901
販売費及び一般管理費	54,497	57,809
営業利益	10,580	10,091
営業外収益		
受取配当金	414	436
持分法による投資利益	160	275
その他	382	533
営業外収益合計	957	1,245
営業外費用		
支払利息	347	335
その他	220	143
営業外費用合計	568	479
経常利益	10,969	10,858
特別利益		
投資有価証券売却益	249	260
その他	62	67
特別利益合計	312	327
特別損失		
固定資産除売却損	226	148
減損損失	247	—
その他	55	51
特別損失合計	529	199
税金等調整前四半期純利益	10,752	10,986
法人税、住民税及び事業税	3,578	4,168
法人税等調整額	1,009	△122
法人税等合計	4,588	4,046
四半期純利益	6,163	6,940
非支配株主に帰属する四半期純利益	179	393
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,984	6,546

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	6,163	6,940
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,602	△56
繰延ヘッジ損益	426	△425
為替換算調整勘定	776	△1,732
退職給付に係る調整額	△138	△34
持分法適用会社に対する持分相当額	101	△11
その他の包括利益合計	2,768	△2,260
四半期包括利益	8,932	4,679
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,602	4,568
非支配株主に係る四半期包括利益	329	110

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

<変更後の区分方法により作成した前第3四半期連結累計期間の情報を記載>

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	145,928	16,708	1,228	163,864	1,847	165,712	341	166,054
セグメント間の内部 売上高又は振替高	250	585	1	836	2,727	3,564	△3,564	—
計	146,178	17,293	1,230	164,701	4,575	169,276	△3,222	166,054
セグメント利益	8,435	1,263	30	9,729	63	9,792	787	10,580

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業などの機能会社グループであります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した不動産賃貸収益等であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去45百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益742百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「タカラバイオグループ」セグメントにおいて、遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額したことにより、247百万円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	146,673	20,048	1,374	168,097	1,807	169,904	346	170,250
セグメント間の内部 売上高又は振替高	185	657	1	845	2,561	3,407	△3,407	—
計	146,859	20,706	1,376	168,942	4,369	173,311	△3,061	170,250
セグメント利益	8,085	1,444	40	9,570	32	9,603	488	10,091

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業などの機能会社グループであります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した不動産賃貸収益等であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去28百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益459百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分の変更)

当社は平成27年4月1日付で連結子会社である宝ネットワークシステム株式会社を吸収合併いたしました。これに伴い、前連結会計年度まで「その他」の区分に含まれておりました宝ネットワークシステム株式会社の事業は第1四半期連結会計期間より「調整額」に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」につきましては、当該変更後の金額に組替えて表示しております。

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間から「企業結合に関する会計基準」等を適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、「宝酒造グループ」で26百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。